



「にたるもん」と「どんべつ」

石原 知二

私の父親は、とても器用な人でした。何でも自分で作ったり、直したりしていました。

そのため、私は子供の頃よく手伝わされたのですが、私が父親の思うように動かないので、「にたるもん」とか「どんべつ」などとよく怒られました。

子供の私には、その言葉の意味がわかりませんでした。どういうわけか今になって気になり、その言葉の意味を調べてみました。

すると、「にたるもん」はもしかして、「似て非なる者」の方言ではないかと思われま。その意味は「本物ではない、まがいもの」と書いてありました。

また、「どんべつ」は「鈍物（どんぶつ）」がなまったのではないかと思われま。その意味は、「のろま、なまくら者」と書いてありました。

その頃を振り返ってみると、確かに私は父親の手伝いよりも、遊びに行きたくて、心ここにあらずでした。

今思えば、父は教えてくれたのかもしれませんが。

「物事を、仕方なくやるようでは、うわべだけのなまくらな人間になってしまう」と。

あるとき、何か作業をしている人達に出会いました。

「何をしていますのですか」と聞いてみると、「石を削っているんだよ」と言いました。また、もう一人は、「自分たちは、城をつくっているんだよ」と言いました。とちらが、働きがいをより多く持てるでしょうか？

今の仕事は、おもしろくない、つまらないと思うこともあります。そんなとき、その仕事の目的や意味を視点を変えてよくよく考えれば、新しい風が吹くかもしれません。

<スタッフのことば>

新型コロナワクチンの摂取が始まっていますが、元の生活に戻るのはまだ先になりそうですね。

自粛生活が続く中、世の中では節約思考が高まっています。コロナ禍で財布のひもが堅くなった...という話もちうほら耳にしますが、外食費や娯楽費は特に減少したのではないのでしょうか。

私も無駄な買い物を減らすようにしたり、積極的にキャッシュレス決済を利用してポイントを貯めたりしています。クレジットカードと電子マネーを紐づけると二重でポイントがもらえたりしてお得ですね。

それから「家計簿アプリ」も使い始めました。買い物したあとに金額や内容を入力すれば、月の支出が数字やグラフで表示され、「何にどれくらい使っているか」を一目で確認することができるのでとても分かりやすいです。今ではたくさんの家計簿アプリが出ていて、レシートを撮影し読み取るだけで自動的に入力、カテゴリ分類してくれて、簡単に家計簿が出来上がるものや、スーパーの安売りのチラシを配信してくれるサービスまであります。とても手軽に利用できるもので継続もしやすいですね。他には、夫婦や家族で家計簿を共有できるものもあるそうで、家族みんなの意識が高まることで家計の改善にもつながりそうです。



今こういった家計簿アプリの利用者が急増しているそうです。コロナ禍で消費者の生活スタイルが変わったことや家計管理への意識向上が、利用を拡大させているのかもしれませんが、従来の家計簿というとなかなか続けるのが大変なイメージですが、アプリなら気軽に楽しみながら続けていけそうだなと感じました。



松崎愛美

kutsumimo consulting 株式会社

ウェブ制作・SNSマーケティング・映像制作・経営コンサルティング

「経営」「ウェブ領域」「映像領域」に強みを持つ3人が集まり誕生した会社です。それぞれの領域で感じた日本の企業が抱える課題や問題に我々は多方面からアプローチし“顧問”という新しい形で企業に寄り添っていきます。

すずかぜもInstagram運営にあたりご協力いただいています！

すずかぜ
インスタグラム



サブスク(月額制)



SNS運用

人工知能を用いた自動運用とプロによるSNS運用サポート



ロゴ制作

シンプルかつ伝わりやすい時代にあったデザインを提供



広告配信

企業課題を分析し最適な広告を選定・配信



ウェブサイト制作

動画をモーションを用いて躍動感のあるサイトを制作



LINE@構築

自動応答botを用いて顧客管理や情報発信に活用



システム開発

RPAや自動化作業をPythonの技術で構築

気になる方はぜひQRコードからアクセスしてみてください！



インスタグラム



公式ウェブサイト

kutsumimo consulting 株式会社
東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門1丁目ビル11F